

海外グループ会社の取り組み

古河電工グループは、世界各地でその土地の事情に即した環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。

瀋陽古河電纜有限公司(中国)の取り組み

China

環境保全への取り組み

中国では経済発展とともに環境問題が大きな問題となっており、法制定や企業への環境に関する立ち入り調査・指導が強化されています。当社はこの動きに対応して、2008年を、2009年中のISO14000取得に向けての準備の年と位置づけ、環境負荷低減のため、環境対応設備への導入に取り組みました。

(1)ヒートポンプの採用

当地では、石炭ボイラーによる温水循環暖房方式が一般的ですが、石炭燃焼による大気汚染が問題となっています。このため、2008年のケーブル新工場建設にあたり、暖房装置として地下水の温度差を利用したヒートポンプ方式を採用しました。石炭資源の使用量削減、大気汚染・温暖化ガス排出防止につながり、冬は暖房、夏は冷房と工場の作業環境にも優しいものとなっています。

(2)排水処理設備の設置

新工場建設にあわせて排水処理設備を設置しました。操業にあわせ水使用量は増加していますが、COD、SS、油分などについて規定を満足した状態で排水することができるようになりました。

(3)屋外廃棄物管理

工場から出る廃棄物は、野積み状態であったため雨水により流れ出るなどの問題がありました。対策として屋根付き廃棄物保管場所を設置し、同時に有価物との分別や置き場面積を減らすことにより廃棄物削減を実現しました。

(4)環境教育

従業員の環境意識向上のため外部より専門家を招聘し、各部門からの選出した環境委員を対象に教育を行っています。

社会貢献活動

2008年の活動としては、降雪時の近隣道路の除雪支援、5月の四川大地震被災地への従業員全員での寄付、区政府の要請に対応し近隣道路両脇への植樹を実施しました。また瀋陽日本人会主催の日本語弁論大会や日中友好駅伝大会などに日本駐在員だけでなく中国人従業員も含めてボランティアとして参画しました。

概要

瀋陽古河電纜有限公司

所在地：中国遼寧省瀋陽市蘇家屯区大淑郷胡家甸

従業員数：400名(日本人駐在員4名含む)

ホームページ：http://www.sf-cable.com

お問合せ先：総務人事部(曹)

TEL：+86-24-8942-8599

FAX：+86-24-8942-8954

沿革

当社は1995年に古河電工、瀋陽電纜廠および伊藤忠3社の合弁会社・瀋陽古河電纜有限公司として創立し、2003年に古河電工の全面資本参加により独資会社となり、2006年には開業10周年を迎え現在に至っています。

事業内容は66kV以上の超高压電力ケーブルおよびジョイントなどの機器部品の製造、販売、ケーブルのジョイント工事そして敷設技術支援サービスです。



大気汚染防止のため暖房用石炭ボイラーをヒートポンプ式に変更



ISO14000取得に向けた環境教育の様子

TFU(タイ)の取り組み



地域社会への寄付活動

タイは仏教国であり、恵まれない人々への寄付やお寺へのお布施が功德として生活に根付いています。

TFUでも、例年創立記念日のある8月に記念行事として地域社会への寄付を続けてきましたが、現在は単なる金銭的な援助ではなく、設備改善計画はあるものの資金がない児童施設や公立学校へ、設備そのものを寄付する活動をしています。

2008年は、①児童施設に運動場の遊具、②学校の講堂にタイル設置、③学校にトイレと歯磨き用の手洗い場設置、④児童更正施設に職業訓練用のパソコン寄付の4件を行いました。

例年、6月に従業員による委員会を設置して、この委員会で寄付のあて先と内容を決定したうえで実行します。さらに、現地を訪問して交流も行いますので、単なる社会貢献だけではなく従業員教育の面もあると信じています。

概要

Thai Furukawa Unicomm Engineering Co.,Ltd.

所在地：68Moo -5, Soi Sangsri, Phayasuren Road,
Bangchan Khlongsamwa,
Bangkok 10510,Thailand

創立：1983年

事業内容：通信設備建設工事

従業員数：143名

ホームページ：http://www.tfu.co.th/



Rangsit Baby Foundationの
子供達



運動場に遊具を設置

TMS(インドネシア)の取り組み



インフルエンザ対策

鳥インフルエンザ対策では過去2年間に、全社員向けにセミナーを2シリーズ延べ6回開催してきました。さらに課長以上の幹部は経営会議の席で、対策書案や事業継続計画(BCP)案の説明を受け質疑することで理解を深めるようにしています。古河電工グループ各社とも何度か合同会議を開き、各社の対策を持ち寄り検討してきました。日本の本社から鳥インフルエンザ対策担当者と嘱託医が2度来社して支援を受けています。

2009年5月20日現在、毎週月曜日に工場玄関で全社員の検温を行っています。全入場者に対して、毎日、手のアルコール洗浄をお願いしています。アルコール殺菌液を所内の主な箇所に設置して日常の洗浄を励行し、昼食時の手洗いも徹底しています。これらの取り組みは鳥インフルエンザ対策書に従ったもので、新型インフルエンザの第4ステージ宣言の日から開始しました。マスク、石鹸、手袋などの備蓄も行っております。

概要

P.T.Tembaga Mulia Semanan

所在地：Jalan Daan Mogot, KM.16, Desa Semanan
P.O.Box 31/ JKT, Jakarta - Barat, Indonesia

創立：1977年

事業内容：銅線、アルミ線製造

従業員数：320人



鳥インフルエンザ講習会の様子